

普及啓発活動実績 (別紙)

平成 20 年 9 月 3 日

青少年等献血ふれあい事業事例

【事例1】

実施センター名 : 北海道赤十字血液センター

実施名称 : サタデー・テーリング

実施日時(期間) : 平成18年4月1日～9月30日 6ヶ月間 毎週土曜日

実施場所 : 北海道赤十字血液センター

協力団体 : 札幌市交通事業振興公社
北海道学生献血推進協議会「トマトクラブ」

実施目的 : 少子化に伴い献血者が減少傾向にある中、将来における献血者確保の安定化を図るために、血液センターの見学を通じて、若年者に献血の重要性や関心を持っていただき、さらに参加者及び家族の方に血液センターの場所を知っていただくことを目的として実施している。

実施内容 : 札幌市営交通が毎年4月から9月まで間、毎週土曜日に市内の小学生4～6年生を対象に市公共施設等を巡るスタンプラリーを開催しており、平成17年より血液センターをその対象公共施設に組み込んでいただき、学生ボランティアグループが説明及び案内役として見学全般の対応を行う。

実施結果 : 参加人数合計3,425名、実施日数25日(1日平均140名)
学生ボランティア75名協力



【事例2】

実施センター名 : 宮城県赤十字血液センター

実施名称 : 献血教室

実施日時(期間) : 平成18年7月27日(木)・29日(土) 10:00~11:30

実施場所 : 宮城県赤十字血液センター 3階会議室

協力団体 : なし

実施目的 : 献血年齢に満たない小学生(主に4年~6年生)と保護者が一緒に、献血の必要性や血液の役割を知っていただき、血液センターを身近に感じていただくことを目的とし、夏休みの自由研究等の一助とする。

実施内容 : (1) けんけつちゃんを使用したスライドを中心に「献血〇×クイズ」を出題しながら講話。(「献血ってなあに?」、「輸血ってなあに?」、「血液の成分」等)
(2) 所内見学(検査課、製剤課、供給課)及び献血バス、血液運搬車。
(3) 配布資料(スライドで使用した資料、愛のかたち献血パンフレット、宮城の献血、献血ルームリーフレット、広報紙「献血いずみ」等)
(4) 質問コーナー、アンケート。
(5) 記念品(ベガッ太くん血液型キーホルダー、メモ帳等)

実施評価 : 若年層に対し、輸血の体験談や献血の重要性を視覚的に説明することにより献血への理解促進が図れた。

実施結果 : 参加者は、7月27日の19組(子供25人)44人と29日の20組(子供26人)46人となり、当センター会議室が両日とも満員となりました。見学終えての感想は好評であった。

